

日程と内容

日次	月日	時間	時間数	講師名(敬称略)	テーマ
1日目	10/12(水)	9:30-12:30	3	佐々木 雅志	情報技術の変化と印刷メディア
		13:30-17:30	4	大西 哲彦	DTP組版設計のディレクション
2日目	10/13(木)	9:30-12:30	3	和田 義徳	企画コンセプト・デザイン表現・色彩心理
		13:30-17:30	4		
3日目	10/14(金)	9:30-12:30	3	福原 節寿	画像修整のポイントRGB-CMYK
		13:30-17:30	4	玉内 公一	デジタルカメラの撮影(実演付き)
4日目	10/27(木)	9:30-12:30	3	北野 誠之	製本加工のディレクション
		13:30-17:30	4	須藤 篤	特殊印刷/加工の企画ディレクション
				堀 知史	
5日目	10/28(金)	9:30-12:30	3	吉川 昭二	印刷の品質管理とインキ・用紙等の知識
		13:30-17:30	4		
6日目	11/10(木)	9:30-12:30	3	相馬 謙一	デジタル印刷を生かす
		13:30-17:30	4	白旗 保則	電子メディアのディレクション
7日目	11/11(金)	10:00-13:00	3	大野 郁英	知的財産権と個人情報の取り扱い
		14:00-16:00	2	内田 智善	顧客視点のソリューションとは
		16:00-16:30	0.5	修了式	

*諸般の都合により、日程および担当講師が変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
*最終日11月11日16時30分~1時間程度の「懇親会」を予定しています。ぜひご出席ください。

講師陣と講座内容(敬称略)

佐々木 雅志 (brain.design代表/JAGAT 客員研究員)

IT(情報技術)の発達によって、情報発信におけるクライアントのメディアの多様性はますます広がっている。プリンティングコーディネータを取り巻く環境の変化を整理しながら、プリンティングコーディネータに必要とされる能力を解説する。

大西 哲彦 (編集者/日本エディタースクール講師)

得意先の要求度を推し量る大切な知識として、日本語組版のルール概要を理解する。「日本語フォント知識について」「日本語組版ルールについて」「効率的な組版を実現するには」など。

和田 義徳 (グラフィックデザイナー)

グラフィックデザインのセオリーを学び、不適切なデザイン表現を避けデザインルールへの理解を深めることで、デザインを見る目を養う。またコンセプトをいかに具体的に表現するか、その思考プロセスを解説する。

福原 節寿 (JAGAT教育サポート部 課長)

いろいろな画像がある中、その基本となる風景、人物、料理などを題材に、演出・修正のポイントを解説する。また、印刷上での最適化を考えてみる。

玉内 公一 (カメラマン/ティーコア代表/日本写真映像専門学校講師)

デジタル一眼レフカメラの普及とともに、撮影・レタッチのワークフローも変貌しつつある。撮影する際のライティングやレンズ補正など、カメラマンの実演を交えながらフォトレタッチの基礎技術を解説する。

北野 誠之 (大日本印刷株式会社 市谷事業部 書籍本部)

製本加工の正確な知識とコーディネータとしての指示を具体的に学ぶ。特に造本・製本の考え方の裏付けとなる理論を押さえながら講義を進めていく。

須藤 篤 (大日本印刷株式会社 市谷事業部 生産管理本部)

堀 知文 (丸栄有限会社 代表取締役)

特殊印刷と特殊加工を組み合わせ、アイデアを乗せて価値ある提案ができるコーディネータを目指す。豊富なサンプルをもとに、技術的な特徴や企画への具体的応用、制作工程、注意点などを解説する。

吉川 昭二 (株式会社サンエー印刷 取締役)

印刷を品質評価できる目と知識を持つことは、オペレーション作業の有無にかかわらず、印刷メディアのプロ(技術・営業)として重要なことである。①良い印刷製品とは ②オフセット印刷機の仕組みと課題 ③印刷品質の評価 ④印刷品質とCMS・印刷標準化 ⑤印刷のトラブルと管理ツール ⑥環境に配慮した印刷 ⑦用紙とインキの基礎知識などを解説する。

相馬 謙一 (JAGAT 参事)

デジタル印刷は、ダイレクトマーケティング向け可変データ印刷や、多様な機種でオフセット、グラビア、スクリーンなどを代替できる印刷機になってきた。情報循環型ビジネスモデル構築が成功のポイントである。

白旗 保則 (グローバルデザイン株式会社 代表取締役)

印刷メディアとの関係の深いデジタルメディア(Web、PDF)を中心に印刷との連携、企画のポイント、制作工程、メディアの特性、効果などをグループディスカッションを交えて解説する。

大野 郁英 (凸版印刷株式会社 法務本部 課長)

デジタル環境での著作権について実務的な知識を学び、自らの権利を守ると同時に、権利問題でトラブルを起さないように原稿を確認し、チェックするための具体的な知識を紹介する。

内田 智善 (株式会社博報堂プロダクツ 顧客化接点事業推進室 室長補佐)

産業構造変革と長引く経済環境の悪化を背景に、メディアの役割が変化している。大きく様変わりするマスメディアの全体動向と、それに伴うクロスメディアの考え方を解説する。